

兵庫県のり漁場環境情報 (東播海域 19 号)

2020年 3月19日発行

兵庫のり研究所

窒素は、漁場地先で概ね3~4 $\mu\text{g-at/L}$ 台、沖筋で概ね2 $\mu\text{g-at/L}$ 台の値でした。栄養塩を消費する植物プランクトンは前回(3/13)調査同様に少ない状況であることから、この海域全体の栄養塩はほぼ横這いで推移しています。

(水温) 漁場内平均11.5℃。平年より2.1℃高く、前回より0.3℃上昇。(塩分) 平均32.07psu。前回(31.94)より約0.13psu高い。
 (栄養塩、珪藻) 高砂周辺でキートセロスが確認されるが前回調査より減少しており、珪藻の発生量は比較的少ない。今回調査は満潮時ということもあり、大阪湾から流入する海水が二見漁場東部まで及んでおり、大阪湾で発生している小型珪藻のニッチアが林崎新漁場周辺で少し確認された。また明石海峡の地点ではこのニッチアがやや多く、他スケルトネマもわずかに見られており栄養塩が低い値を示した。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	11.2	11.5	9.4	11.4
窒素	4.1 ※	3.4	3.4	4.1
リン	0.40	0.40	0.30	0.28

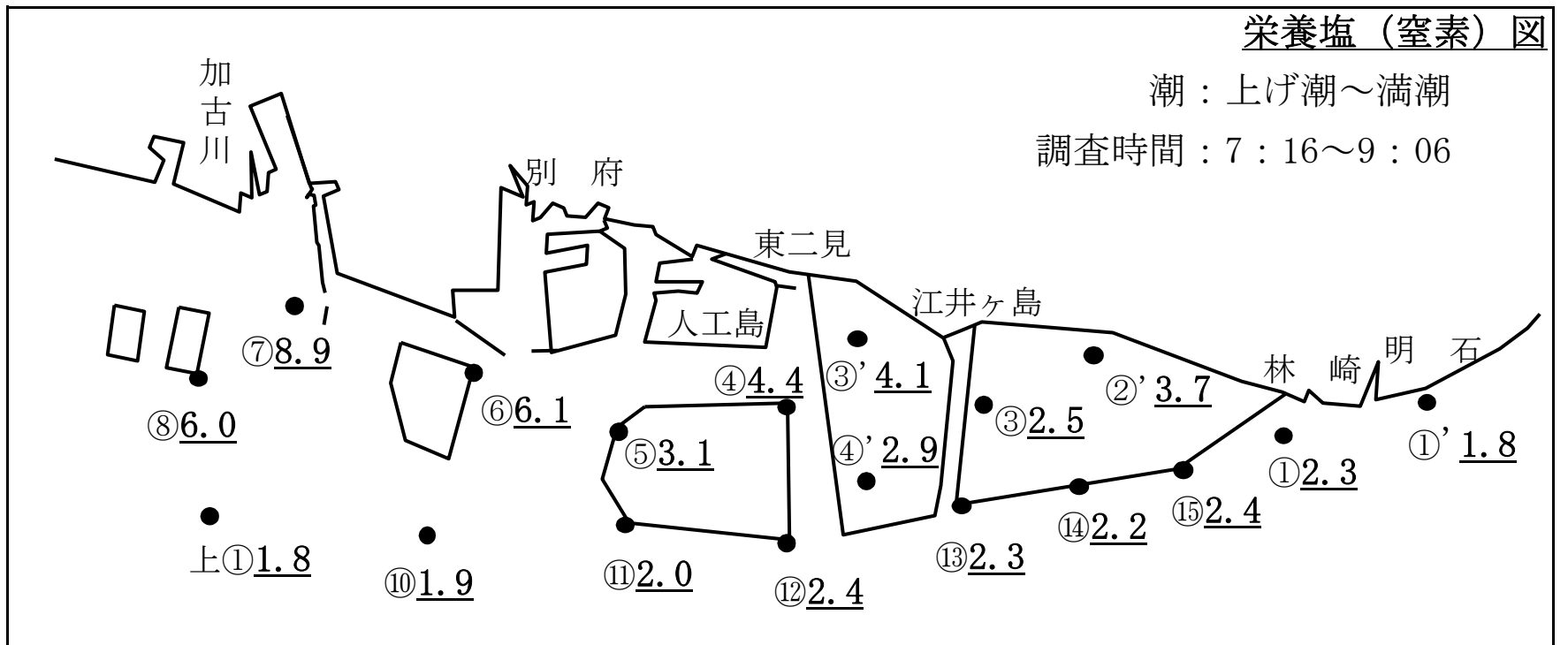
(3/13)

(3/22)

※ 前回は別府・高砂漁場の値により漁場平均値が高くなっていました。

2020年 3月19日調査

栄養塩(窒素) 図



水温図

